

道路の法面对策により道路利用者の安全性を確保

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要: 令和元年10月の大雨において被災した道路法面の機能強化を図ることにより、令和7年8月の大雨時には、令和元年10月を上回る降雨が観測されたものの、法面崩落等の被害が発生しなかった。

対策名: 52 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体: 広島県
- 実施場所: 広島県山県郡安芸太田町
- 事業概要: 令和元年10月の大雨により法面崩壊が発生した一般国道191号において法枠工※等を実施
 - ※崩落しそうな斜面をコンクリート製の枠で固定して崩落を防ぐ工法
- 事業費: 約2.1億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.8億円)
- 災害の外力、被害と効果: 令和7年8月の大雨では令和元年10月の大雨を上回る連続雨量(約174mm)を観測したが、大雨による法面の変状等が生じることなく、交通機能を確保した。



法面对策



令和元年10月大雨
連続雨量: 約82mm

・全面通行止め: 約8時間
片側交互通行: 884日

【位置図】



令和7年8月大雨
連続雨量: 約174mm

・被害なし

